

# LOBO 調査

## 早期景気観測

9月分 日商調査日 9月7日～20日  
当所調査日 9月7日～20日

### LOBO調査とは

全国各地の商工会議所が参加して、日本商工会議所が実施する全国規模の早期景気観測調査。当所ではさらに、会員企業40社の皆さまにも調査へのご協力をいただき、より地域に根差した調査を実施。

### 日商調査

9月の全産業DI ▲23・3  
(前月比 ▲2・3ポイント)

### ○中小企業の景況感

高騰が続く資源・原材料価格に加え、電気代のさらなる値上がりや、140円台まで進んだ円安の急伸による輸入品の価格上昇など、企業のコスト負担は増加し続けており、全業種で業況が悪化した。さらに、サービス業・小売業では物価高による消費マインズの低下、建設業では人手不足対策としての人件費増加が業況を下押しした。

製造業では部品の供給不足、卸売業では台風などの天候不順による物流コストの上昇が業況を下押しした。感染状況が落ち着き、人流も回復基調にあるものの、増加し続けるコスト負担が企業経営の重荷となり、中小企業の景況感は2カ月連続の悪化となった。

### ○先行き

先行き見通しDIは▲23・7(今月比▲0・4ポイント)

全国旅行支援の再開や水際対策の緩

和による客足回復の期待感が小売業・サービス業で広がる一方、物価高による収益圧迫を危惧する声が増加した。業種を問わず、物価上昇によるコスト増に対する十分な価格転嫁も行えていない。欧米のインフレ対策で世界経済の鈍化が顕在化する中、円安や物価上昇に歯止めがかからず、さらなるコスト負担増の懸念から、中小企業の先行きは厳しい見方が続く。

### 【関東ブロックの業況についてのコメント】

公共工事は減少傾向にある。企業の設備投資需要はあるが、資材価格の高騰による工事計画の見直しにより、受注量の減少が続いている。住宅価格は上昇傾向にあるものの、都内からの転居者や高所得者層の需要は強く、受注量は増加している(一般工事業)。

燃料価格の高騰に伴う値上げを実施せざるを得ない状況であるが、同業他社との価格競争が激しく、慎重になっている(運送業)。

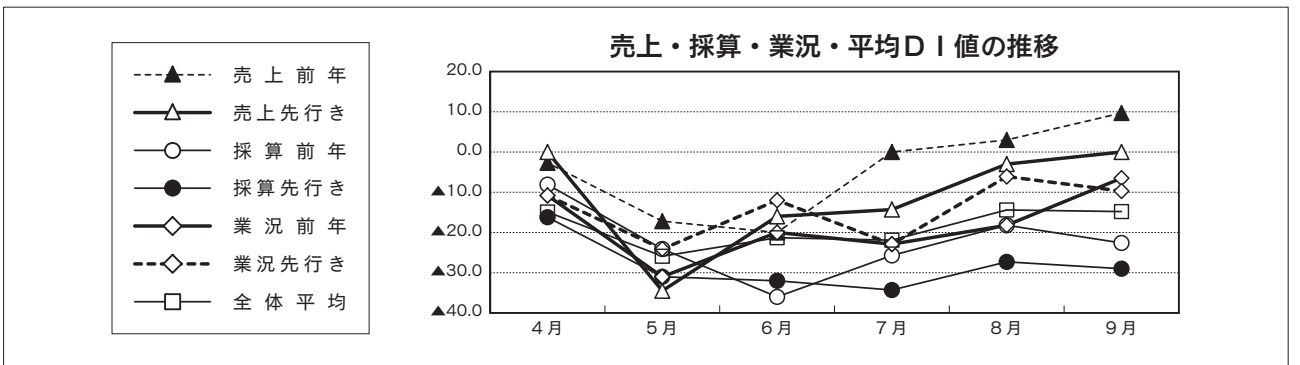
### 【当所調査】

### 「原材料高騰により、景況感悪化」

全体平均DIは▲14・8で前月に比べ▲0・3ポイントの悪化。項目別では、仕入先行き▲7・4ポイント、資金先行き▲6・2ポイントの悪化が見られた。コメントには、「特産品の仕入れ価格高騰により、ほかの仕入れ先を検討せざるを得ない(菓子小売業)」、「仕入れ価格の高騰により、値上げをしたものの好転する兆しがない(家具小売業)」といった、仕入れ値高騰が深刻な影響を与えていると考えられる。

(全産業) 水戸商工会議所会員企業LOBO調査(DI値推移) (サンプル数40社)

項目	令和3年		令和4年				
	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上前年	▲23.5	▲2.7	▲17.2	▲20.0	0.0	3.0	9.7
売上先行き	▲14.7	0.0	▲34.5	▲16.0	▲14.3	▲3.0	0.0
採算前年	▲20.6	▲8.1	▲24.1	▲36.0	▲25.7	▲18.2	▲22.6
採算先行き	▲14.7	▲16.2	▲31.0	▲32.0	▲34.3	▲27.3	▲29.0
仕入前年	▲47.1	▲78.4	▲69.0	▲64.0	▲74.3	▲72.7	▲77.4
仕入先行き	▲38.2	▲73.0	▲65.5	▲52.0	▲71.4	▲63.6	▲71.0
社員前年	11.8	18.9	10.3	12.0	14.3	18.2	19.4
社員先行き	14.7	16.2	6.9	4.0	14.3	21.2	19.4
業況前年	▲29.4	▲10.8	▲31.0	▲20.0	▲22.9	▲18.2	▲6.5
業況先行き	▲20.6	▲10.8	▲24.1	▲12.0	▲22.9	▲6.1	▲9.7
資金前年	▲17.6	▲8.1	▲20.7	▲12.0	▲14.3	▲9.1	▲6.5
資金先行き	▲2.9	▲5.4	▲10.3	▲8.0	▲11.4	3.0	▲3.2
全体平均	▲16.9	▲14.9	▲25.9	▲21.3	▲21.9	▲14.4	▲14.8



※DI値(景況判断指数) = (増加・好転等の回答数 - 減少・悪化等の回答数) / 全回答数 × 100。ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味するもの。